

編集にあたって

「情報処理学会論文誌 データベース (TOD)」編集委員長

吉川 正俊¹ 灘本 明代² 難波 英嗣³

1. 諸規程について

「情報処理学会論文誌 データベース (TOD)」[IPSJ Transactions on Databases (TOD)]の諸規程は、以下で特に明記しない事項については情報処理学会編集規程、論文誌編集規程、論文誌データベース編集細則に従います。

2. 対象とする分野

TODは情報の本質や特徴、利用の効果といった基礎的な分野と、情報のデータ化や蓄積およびアクセス方法、各種応用システムの構築といった処理技術に関する分野の論文を専門に扱う論文誌です。上記分野に興味をお持ちの会員の皆様に対して、最新の研究論文やサーベイ論文をまとめた形でお届けします。

この論文誌は、時代に即した新しい価値を創造し、研究会の活性化に資することを目的に、1999年2月の創刊以来、研究会活動の一環として質の高い論文を集録して継続的に発行しています。特に、

- (1) データベース、情報検索、情報コンテンツに関する基礎、情報形成・処理・利用の方法を中心とする論文誌の実現
- (2) 研究発表会などの研究会活動と連動し、研究会活動の活性化を目的とした、会員ニーズ/社会動向に機動的に対応する論文誌の実現
- (3) サーベイ論文、事例・実践論文、作品・デザイン論文、テクニカルノートなどの掲載を通じた、論文誌としての新しい価値の創出

を狙いとしています。主なテーマは次のとおりです。

- 情報の表現、分類、利用

情報の生成・発見、表現・識別、分類・組織化、機械学習とデータマイニング、流通および利用の効果など。

- モデリング・言語

データモデル、データベース設計、データベース言語、構造化文書用言語など。

- 情報システム技術

データベース管理システム、動画像検索、コンテンツ流通・管理、Webとデータベース統合、検索エンジンなど。

- 高度応用

地理情報システム、空間データベース、電子図書館、科学データベース、ビジネス情報マネジメント、食とレシピの情報処理など。

3. 編集方針

- (1) 各号ごとに、論文投稿締切、査読結果通知期限、論文誌発行予定日を公開いたします。これにより、論文投稿者の皆様には、論文投稿計画を立てやすくなるというメリットをご提供できると考えております。具体的なスケジュールについては、TODのホームページ (<https://ipsj-tod.org/>) をご参照ください。
- (2) 毎号、「編集にあたって」という巻頭言形式で、共同編集委員長名で、編集の主旨を掲載します。
- (3) 論文はその種類を問わず査読を経て「採録」となったものを掲載いたします。論文の査読結果は、採録、条件付き採録、不採録の3種、テクニカルノートの査読結果は採録、不採録の2種とします。条件付き採録の場合には、その条件が満足されるように修正された原稿が指定の期限までに再提出された場合には採録とします。ただし、最終的には、修正後の再提出論文が採録レベルに達しているかどうかを判断基準とします。
- (4) 本論文誌に投稿された論文に対して、担当編集委員が決定すると、その担当編集委員名は投稿者に開示されます。さらに、投稿論文が採択された場合、論文掲載時に担当編集委員名を明記します。

¹ 京都大学大学院情報学研究科
Graduate School of Informatics, Kyoto University, Kyoto 606-8501, Japan

² 甲南大学知能情報学部
Faculty of Intelligence and Informatics, Konan University, Kobe, Hyogo 658-8501, Japan

³ 中央大学理工学部
Faculty of Science and Engineering, Chuo University, Bunkyo, Tokyo 112-8551, Japan

(5) 論文の言語は日本語または英語とします。

2015年1月以降に発刊される本論文誌に採録された英文論文は、本論文誌にそのプレプリントが掲載され、Journal of Information Processing (JIP) に本掲載されます。その詳細は、以下のホームページをご覧ください。

http://www.ipsj.or.jp/journal/info/jour_topics/topi46.html (和文)

http://www.ipsj.or.jp/english/jip/info/jip_topics/topic11.html (英文)

(6) 論文の長さには特に上限は設けませんが、論文とテクニカルノートの標準刷上ページ数8ページと4ページを目安とします。15ページを超える場合は、原則として必要性を説明する理由書の提出をお願いします。なお、ページ数に応じて掲載料が変わります。詳しくは「論文誌(トランザクション)執筆案内」をご参照ください。

(7) 本編集委員会の活動に関して勧告・提言を行うアドバイザー委員会を併設します。この委員会の監視により、本論文誌の客観性や中立性を維持し、つねに論文の質の向上をはかる体制の実現を目指します。

4. 投稿手続き

(1) 論文募集は原則として年4回行っています。投稿者は、論文募集スケジュールに従って、TODのWebサイトのアブストラクト投稿ページより、論文のアブストラクトを編集委員会に送信してください。そして、編集委員会から送られる受領確認メールの指示に従って、PDF形式の論文原稿をアップロードしてください。

(2) 採録決定後は、学会事務局の指示に従い、印刷用最終原稿を本論文誌の指定する締切日までに指定されたフォーマット(原則として \LaTeX ファイル)で提出してください。

5. その他

5.1 ホームページ

本論文誌の投稿手順、特集号の論文募集や各共同編集責任研究会の計画は、以下のホームページをご参照ください。

- 情報処理学会論文誌 データベース (TOD)
<https://ipsj-tod.org/>
- 論文誌(トランザクション)執筆案内
<http://www.ipsj.or.jp/trans/trans-shipitsu.html>
- 情報処理学会データベースシステム研究会 (DBS)
<http://www.ipsj-dbs.org/>
- 情報処理学会情報基礎とアクセス技術研究会 (IFAT)
<http://ipsj-ifat.org/>
- 電子情報通信学会データ工学研究会ホームページ (DE)
<http://www.ieice.org/iss/de/jpn/>

投稿に関する規程類やスタイルファイルなども、ここから取り出すことができます。研究会・専門委員会ホームページには、研究発表会の予定や発表申込に関する情報が含まれています。

5.2 巻・号の標記について

- 巻 (Vol. 番号) の標記

2008年4月から情報処理学会の論文誌体制が刷新されたことにともない、2008年に発刊される本論文誌の巻はVol.1と標記することにいたしました。このVol番号は、毎年1ずつ増加していきます。

- 号 (No. 番号) の標記

各年において、本論文誌の発行順に通し番号をつけたものが、本論文誌の何号かという標記になります。